令和２年１０月号　　Vol.　２５

ひだまりだより

面会制限について

コロナの影響で面会は、現在中止とさせていただいています。

※リモートでの面会を検討していますので、準備が整い次第入居者のご家族の方へ連絡いたします。

コロナウィルスの影響で、利用者、ご家族様には、外出、面会等で不自由をかけております。

スタッフ一同、皆様に少しでもリフレッシュして頂こうと、日々趣向を凝らし、これからも頑張ります。

土用の丑の日

ウナギにはビタミンAやビタミンB群など、疲労回復や食欲増進に効果的な成分が多く含まれています。土用の丑の日は季節の変わり目にあたる為、体調を崩しやすい7，8月の2回、ウナギを振る舞いました。

敬老の日

敬老の日にみなさんへの感謝をこめて、肌着を贈りました。

８月　防災訓練

7.8.9月

誕生日おめでとう

藤原　フサ子様
昭和７年７月１５日生まれ

糸永　光夫様
昭和26年8月25日生まれ

阿南　ス工子様
昭和５年９月５日生まれ

これからも明るく、お元気でお過ごしください

大分南高校介護実習

期間10月28日～11月10日
2名
みなさまの温かいご指導をお願いいたします。

職員紹介

豊田　ひとみさん

９月より入社した看護師です。よろしくお願いします。

レクリエーション紹介

ベンチサッカー

全員参加で相手チームの椅子めがけてボールを蹴ります。ボールが2つになると、みなさん必死です。

紙コップチャレンジ

棒で紙コップをすくい上げ、かごに投げ入れた数を競います。倒れたコップをすくうのは、けっこう難しいです。

ひだまりの里でのコロナ対策

飛沫防止用アクリル板
咳やくしゃみによる、対面の飛沫を防ぎます。圧迫感がなく、利用者様の会話もはずみます。

自動検温システム
モニター画面に顔を近づけると、カメラが体表面の温度をすぐに検知します。

調理レクレーション

７月は『フルーツ白玉』を作りました。

淡いピンクと緑の団子が彩りよく、美味しくいただきました。

９月は、郷土料理『やせうま』を作りました。

やせうまの由来
・平安時代に貴族の若君が乳母の八瀬が作ったおやつを気に入り、「八瀬、うま」と、ねだったという説
・元々は米粉で作った馬の形のおやつであったが、小麦粉で作られるようになり、平らで長くなったため「やせうま」と呼ばれたという説。
・馬の餌とする小麦を、この料理にして人間が食べてしまい、「馬がやせてしまった」といった説があります。
また、やせうまは弘法大師（空海）の命日である「お大師さま」で振る舞われたり、お盆や七夕に供えものに作られました。

久しぶりに「やせうま」を作りました。美味しくいただきました。

ひだまりの里作品展

七夕飾り

元気で笑顔いっぱい。
足が良くなりますように。
写真ではなく、動く孫に会いたい・・・
ひだまりの里への感謝の言葉もいただきました。ありがとうございます。

カレンダー作り

壁面かざり

100円ショップのすだれと、うちわをを使って、あさがおがとても涼しげですね。

高原に咲き誇るひまわり花紙で大倫の花を作りました。さわやかな、立体感のある作品です。

ペーパーフラワー作り

無地のコーヒーフィルターに、色鉛筆で色を塗り、花びらを切り取り、綿棒に巻き付けます。
生成りのフィルターも、ドライフラワーのようで、味があります。